

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	住民が豊かな生活を営むために、移住者が疎外感や孤独を感じる課題を解決するために、安心安全な場でゆったりとした時間を過ごせるつどいの場を設けます。そこでは、移住者自らが講師となり、芸術や文化を楽しみながら地域住民と交流し、食・農・健康の向上を図るようなイベントを開きます。
対象となる人・範囲	移住者を中心とした佐久地域の子供からお年寄りまで
事業の効果、達成目標 （達成目標はできる限り数値で示すこと） 記載ポイント 事業の	移住者が講師となることで、参加者と趣味やスキルを共有し、自己表現の場が広がります。そして気軽に立ち寄れることができるつどいの場での交流により、移住者同士や地域住民とのつながりが強化されることが想定されます。移住者が持つ異なる文化や経験を通じて地域の文化が豊かになり、共有される機会が増え、地域に対する愛着や関心が深まります。 達成目標：年間10回の講座8人×26回＝208人の動員 内 移住者 12組 地域 18組
詳細 （活動内容・方法・スケジュール等ができるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する） 記載ポイント 事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立促進	2024年度のワークショップでは、企業と大学との連携も取れました。参加人数は70名ほどのイベントが2回行われました。今年度は、介護の分野にも目を向け学習します。佐久地域の伝統文化である「うち織」を体験できる場を設け、伝承に繋げる人材を育成します。また、昨年度から活動していた茶道（英語茶道）を通して、インバウンド対応スキルの向上、小学校の部活への協力人材の育成を行います。活動内容・スケジュールについての詳細は別紙参照 ① 独自性： 地域の特徴を活かしたワークショップ、イベントを開催することで、地域の独自性を引き出すことができます。地元の歴史や文化に焦点を当て、それを古民家で体験できるような展示や、農作業、食育を企画することで、参加者に新しい視点を提供できます。 ② 発展性： 多職種の人材が集まっている団体なので、イベントやプログラムが持続可能で、長期的な関与が出来ます。季節ごとに異なるテーマやアクティビティを組み込み、参加者の興味を引き続けることが可能です。地元企業や商工会、教育機関などと協力し、地域全体の発展に寄与できるプロジェクトへと繋がります。 ③ 実現可能性： 地域住民や移住者の声を積極的に取り入れ、彼らが求める活動やプログラムを把握します。参加者のニーズに合った形でイベントを企画することが実現可能性を高めると考えられるため、ボランティアや地元のリーダーシップを活かし、プログラムの実施に協力してもらえる体制を整えます。 ④ 団体の自立促進： 地域組織と連携し、資金調達や施設の改善などを協力してもらうことで、団体の自立を促進できます。地元の若手リーダーやボランティアを育成し、将来的なまちづくりのリーダーシップを確立します。
重点テーマに該当する理由	※該当する場合のみ記入 移住者サポートとして移住者自らがイベントを開催し、地元のコミュニティを形成する動きは区分5の「移住・定住につながる取組」に該当します。
翌年度以降の取組	3年目：自走に向けて、移住者サポート、農業体験プログラムの拡充 4年目：地域内の連携を強化し、事業の持続可能性を確保